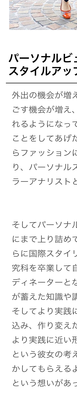
# 紙本 真琴

## 病をきっかけにファッションの世界へ

彼女がファッションに興味を持つようになったのは中学生の頃だ。中学にあがるとみんな制服になり、自分の個性を表現できる場が少ないことから洋服を意識するようになった。当時父親から服装を褒められたことも原体験となっている。その後ファッション関連の仕事につくことなく、歯科衛生士として働いていた彼女だが、病をきっかけに外出の機会が減ると、だんだんと塞ぎ込んでいった。

そんな時にきっかけを作ってくれたのが彼女の夫だった。病気をきっかけに今まで見てネイルキットを買ってきたり、洋服を見に連れて行ってくれたりした。そこから少しずつではあるが外出する機会も増え、彼女は前向きに物事を考えられるようになった。



## パーソナルビューティスタイリスト、スタイルアップコーディネーターへ

外出の機会が増えた彼女は近所の友達とも過ごす機会が増え、同時にアドバイスを求められるようになっていった。もっと他人が喜ぶことをしてあげたいと考えた彼女はそこからファッションについて猛勉強するようになり、パーソナルスタイリスト、パーソナルカラーアナリストと資格をとっていった。

そしてパーソナルビューティースタイリストにまで上り詰めて活動していた彼女だが、さらに国際スタイリングカウンセラー協会で研究科を卒業して自立し、スタイルアップコーディネーターとなった。彼女は今までの自分が蓄えた知識や講義を出来るだけシンプルに、そしてより実践に近い形のレッスンに落とし込み、作り変えたのだ。そこには『お客様はより実践に近い形で教えてもらいたいはず』という彼女の考えと、お客様により今後に活かしてもらえるようなレッスンを提供したいという想いがあった。

## 内面も含めてのコーディネートを

様々な資格をもつ彼女だが、それ以上に大切にしているのは内面をしっかり見ること。彼女はカウンセリングをする際、パーソナルカラー診断で肌の色を見るのだが、それだけでなくの内面の良さを引き出すようにしている。そのため彼女は平均すると１時間半もの時間をとり、対面で話をするようにしている。内面を引出したら今度は逆に作り手であるブランドの想いやコンセプトに合うモノを探し、お客さんに提案するようにしている。

内面を磨く上で彼女が重要だと考えているのは家族との時間、家族と自分の笑顔を大切にすることだ。家族との時間やお仕事の時間など、内面が健康でないと内からくる自信や自の輝きはでてこないし、そうするとどんなに素敵な、高い洋服を着ても洋服に着られている印象になってしまう。彼女自身、家での時間をとても大切にしており、仕事の予定を入れすぎず、家に早めに帰ってくるようにしている。それは楽しく仕事をするためでもあり、継続するためでもあり、そしてなにより家族と自分の笑顔のためだ。



## 徹底したお客様目線

彼女はインスタの投稿一つ一つ、フォロワーさんに上手に自分の着ているものを参考にしてもらえるような提案をむけている。もちろん彼女自身が好きなモノを発信しているのだが、それにプラスしてフォロワーさんの目線を大きく取り入れているのが彼女の特徴だろう。みんなが何を求めていて、どういう情報が役に立つのか。シンプルに見えるが好きなモノを違う視点から表現し、継続するのはとても難しい。また、彼女は洋服以外にも自宅でできる体型維持の方法などをリアルな目線での発信をむけけている。例えば、彼女はベースメーカーを入れているためパーソナルジムなどに通うことができないし、家での美容器具も通電するものは気をつけているのでセルフケアで取り組んでいる。そんな彼女が続けているのはお風呂のバスタブの中でのストレッチ。腰に負担をかけずにでき、代謝をよくして体型維持に繋がる。食事では夜は炭水化物を抜いている。そういったことをこれからも発信していこうと考えている。

彼女は 2021 年春に EC ブランド lealta.M( レアルタ・エム ) を展開する予定だ。彼女が考案したのは、年齢による体型の違いなどを考慮した作りのブランド。様々な経験を経てたくさんのお客様の悩みと向き合ってきた彼女が作る新しいカタチになっている。お客様目線を徹底した彼女が生み出す新しい商品そして彼女自信の今後の活躍が楽しみである。